

10月31日8時30分 CRT スタジオで収録

「今、哲学しよう！」

－毎年11月第3木曜日は国連(国際連合)が定めた「ユネスコ世界哲学の日」です－

開倫塾

塾講 林明夫

1. (1)毎年11月第3木曜日は国連(国際連合)が定めた「ユネスコ世界哲学の日」です。
(2)いよいよ11月に入りましたので、今日の「開倫塾の時間」では、11月第3木曜日(11月16日)の「ユネスコ世界哲学の日、World Philosophy Day」を前に「今、哲学しよう」というテーマでお話いたします。



2. 〈哲学とは何か〉

- (1)①「自分が生きていること自体の意味を問う」
②「善悪の区分とは何かを考える」
③「哲学は求めなければどこにもないが、気にしはじめればどこにでもある」といえます
- (2)①「だれでも日々生きている暮らしと仕事」の中で、
②「自分がその中で生きている世界は、全体としてどのようなものか」、
③「自分の人生を今後どのように送っていくつもりか」、
- (3)①「我々の生活の一番根底にある考え方」、「我々の常識を支える大前提となっているもの」とは何かを考える。
②それを「意識の表面」に取り出し、「自分が本当に納得できるものかどうか」を「自分の力」でよく考えてみる、「理論的に吟味」する。
③これが「哲学」ではないかと考えます
- せっかく、11月第3木曜日(16日)は国連(国際連合)が定めた「ユネスコ世界哲学の日、UNESCO World Philosophy Day」ですので、「今、哲学しよう」を合言葉に、ものごとを哲学的に考えるにはどうしたらよいか、考えて参りましょう。



3. 「今、哲学しよう」で大切なキーワードは、3つあります。「価値」「意味」「秩序」です。

(1) 「第一段階」として、「今、行っていること」や、「これから行おうとすること」、例えば、仕事や勉強、生活をする上で、今、行っていることや、これから行おうとしていることの、「価値の大切さ」とは何かを考えてみる

〈例〉①この仕事の「価値(大切さ)」とは何なのか

②この勉強の「価値(大切さ)」とは何なのか

③この社会的活動の「価値(大切さ)」とは何なのかをよく考えてみる。

○これが第一番目の「価値(大切さ)」です。

(2) その上で、次にそのことの「意味」は何かを考える。

①自分にとっての「意味」

②会社にとっての「意味」

③そのグループにとっての「意味」

④社会にとっての「意味」

⑤自分の人生にとっての「意味」は何なのかを考える

○そして、「意味付け」をする。各々にとっての「意味付け」をする。

これが、第二番目の「意味」です。

(3) ①最後に、では何をしたらよいか、何をしない方がよいかを、自分の力で考え、決定(自己決定)。みんなの力で考え、決定する。

②自分で決めたこと、みんなで決めたこと、決めたことは自分から進んで行く。

③秩序正しく行う。

○これが、第三番目の「秩序」です。



4. (1) このように、ものごとを考えるときに、

①まずは、そのことの「価値(大切さ)」を考える。

②次に、そのことの「意味」を考えて、「意味付け」を行う。

③最後に、ではどうしたらよいか「自分で考え」「自分で決める(自己決定)」、決めたことは自分から進んで行く。「秩序」正しく行う。

(2) 11月第3木曜日(本年は、11月16日)は、国連(国際連合)が定めた「ユネスコ世界哲学の日」です。

(3) 11月に入りましたので、「今、哲学しよう」をテーマに、今日の「開倫塾の時間」は、「価値(大切さ)」「意味付け」「秩序」のお話をいたしました。「今、哲学いたしましよ！」

